

MOH/NIOEH が受けた支援

1. 米国 NIOSH、大学/研究機関/AIHA（米国産業衛生協会）に
OSH、労働・環境衛生、ODS（珪肺症、職業性肺疾患、農薬中毒、X線検査など）に関する研修コース/ワークショップ/国際会議、子どもの健康と環境に関する研究プロジェクト（鉛電池リサイクル村の子どもの鉛中毒）と介入など。
2. 日本政府および日本の WHO CC、厚生労働省
WHO の支援による「労働者の健康を守るためのプロジェクト」フェーズ I（2009～2011 年）、フェーズ II（2012～2014 年）：一部のリスク産業（健康産業、農業、工芸村、建設、鉱業、化学産業）における基礎的な産業保健サービスの向上、アスベスト関連疾患をなくすための国家行動計画の策定と実施のための能力構築（職業性肺疾患（X線検査）やアスベスト症の検出に関する研修コースやワークショップの開催、中皮腫に関する調査など）、アスベスト関連疾患をなくすための国家行動計画の策定と実施のための能力構築。2011 年から 2015 年までの労働安全衛生に関する国家プログラムの検査・監督を支援する。
3. タイの研究機関・大学
能力開発（労働・環境衛生に関する博士課程、修士課程、短期トレーニングコース）、電子廃棄物リサイクルが労働者の健康と子供の健康に与える影響、地下水のヒ素汚染と子供の健康に関する研究など。シンガポール WHO CC：医療施設における OSH に関するトレーニングコース
4. 韓国の WHO CC（KOSHA）
労働衛生と職業病診断の研修、OSH マネジメントシステムなど

MOLISA が受けた支援

5. デンマーク政府
2011 年～2015 年の労働安全衛生に関する国家プログラムの実施を支援するプロジェクト：2011-2015 年の国家プログラムの目標と活動の実施：労働災害の発生頻度の減少、定期的な健康診断を実施する事業所の増加、業務上の疾病を発見するために検査を受ける人の数の増加、企業や従業員への労働安全衛生に関するコミュニケーションとトレーニング活動の促進にプラスの影響を与える。
6. 日本（日本政府および ILO）
プロジェクト「労働安全衛生に関する国家プログラムの効果的な実施と職場における労働安全衛生のための能力開発のための支援」：第 1 次労働安全衛生国家プログラムの効果的な実施と第 2 次労働安全衛生国家プログラムの開発を通じて、労働安全衛生に関する国家管理体制の構築と中小企業の労働安全衛生の向上に貢献する。

「ベトナムにおける高リスク職業における労働安全衛生」：2011年から2015年までの労働安全衛生に関する国家プログラムの枠組みの中で、ベトナムの高リスク分野（建設、鉱業、化学物質）における労働安全衛生に関する基準の実施を改善し、アスベストやその他の化学物質による従業員の健康へのリスクや毒性を防止することを目的としている。

7. 韓国

韓国政府が支援する「労働安全衛生センターの能力を強化し、労働安全衛生に関する国家研修センターになるために」：能力を強化し、専門家、専門家と近代的な施設で動作する専門家のチームとベトナムの主要な OSH 研修センターになるために OSH 研修センターを開発するには、国全体のために、効果的にトレーニングサービス、トレーニング、コンサルティング、研究、技術移転を提供することができるようにするために、監視と他の組織のトレーニングや訓練の質の評価に参加し、ベトナムの労働安全衛生のためのトレーニングセンターと徐々に地域で拡大しています。

8. ドイツ

ドイツ政府が支援する国際社会保障協会（ISSA / Mining）の国際鉱業予防委員会との協力プログラム：労働安全衛生と労働検査の開発；労働災害の予防、労働災害のリスクの高い産業や職業のリスク管理、特に鉱業に焦点を当てた。